

平成 25 年度
事業 報告 書



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

社会福祉事業

- | | |
|---|-------------------|
| ○ 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム
介護保険事業（介護老人福祉施設）（定員50名） | 年間延利用人数
18,151 |
| ○ 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム
短期入所生活介護、
介護予防短期入所生活介護（定員20名） | 年間延利用人数
7,136 |
| ○ デイサービスセンター 鈴鹿グリーンホーム
通所介護、介護予防通所介護（定員50名） | 年間延利用人数
12,798 |
| ○ サロン花葉
通所介護、介護予防通所介護（定員10名） | 年間延利用人数
1,574 |
| ○ 鈴鹿市一次予防事業委託 | 年間延利用人数
1,100 |

公益事業

- | | |
|--|------------------|
| ○ 在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム
居宅介護支援事業（介護予防支援委託を含む。） | 年間延利用人数
1,785 |
|--|------------------|

合計

42,544

I. 経営理念

私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます

II. 経営ビジョン

気持ちを「かたち」に

～こころづかいを地域の皆さまに～

～思いやりを地域の皆さまに～

III. 経営目標

20年目からの“新たな挑戦”

V. 基本方針

1. 「個別ケアの推進」
2. 「根拠・成果のある介護の推進」
3. 「人財の育成」
4. 「地域との連携・活動の推進」
5. 「安心・安全」

VI. 法人事業計画

1. 法人運営

開催月	開催名等	
月例	月例会 介護相談員受け入れ	幹部会議 連携会議
4月	理事長賞表彰	
5月	創立20周年記念行事～20年目を迎えて～の開催 内部経理監査の実施 理事会、評議員会の開催	監事監査の実施
6月	増改築・新築工事開始 個室ユニット化にかかる家族説明会	広報誌の発行 人事考課実施
7月	保険者、介護相談員三者面談	
9月	敬老祝賀会の開催	
11月	理事会、評議員会の開催	ショートステイ新築棟仮使用開始
12月	人事考課実施	
1月	特別養護老人ホーム増築棟仮使用開始	
3月	理事会、評議員会の開催	

2. 研修

(1)施設「内」及び新入職員研修

計 27 回 延べ 128 名参加

開催月	参加者数	所属	研修名・内容
4月	3名	法人	新入職員研修
	2名	デイサービス	新入職員研修(接遇、高齢者の特製、コミュニケーション、人権学習等)
	4名	サロン花葉	今年度事業計画について
	4名	居宅介護支援	ケースファイル開示(舟橋担当分)
5月	2名	デイサービス	介護の基本(排泄)
	4名	居宅介護支援	ケースファイル開示(辻および田中担当分)
	1名	法人	痰の吸引等研修(救急救命)
6月	3名	デイサービス	認知症の基本、介護の基本(移動)、新入職員研修
	4名	居宅介護支援	ケースファイル開示(南橋担当分)
	5名	サロン花葉	エスケープ事例検討「花葉ではどうするか?」
7月	4名	デイサービス	介護の基本(移動)、新入職員研修
	4名	居宅介護支援	リンパ浮腫について(舟橋CM担当)
8月	4名	居宅介護支援	心疾患について(田中CM担当)
9月	1名	デイサービス	認知症・人権学習
	4名	居宅介護支援	記録手法SOAPについて、次期法改正について:ケアマネ協会研修内容の伝達(辻CM担当)
10月	1名	デイサービス	身体拘束・介護の基本(排泄)
	4名	居宅介護支援	腎臓と腎臓病について(南橋CM担当)
11月	16名	デイサービス	利用者視点について
	4名	居宅介護支援	生活機能と薬から見た体調チェックフローチャートについて 飲酒運転の危険性と罰則・社会的な取り組みについて (舟橋CM担当)
12月	4名	居宅介護支援	精神疾患を併せ持った高齢者への関わりについて(田中CM担当)
1月	15名	デイサービス	感染症について
	4名	居宅介護支援	自律支援型ケアマネジメントについて(辻CM担当)
2月	14名	デイサービス	リスクマネジメント、バリデーション
	3名	居宅介護支援	認知症の予防と対策について(南橋CM担当)
3月	11名	デイサービス	誤嚥について
	4名	居宅介護支援	災害時における地域福祉について～災害福祉広域支援

(2)施設「外」研修

計 60 回 延べ 101 名参加

開催月	参加者数	所属	研修名・内容
4月	2名	デイサービス	新入職員研修会
5月	1名	デイサービス	心肺蘇生法・AEDの講習
	4名	居宅介護支援	鈴鹿市内介護支援専門員研修会「社協が取り組むサービスについて・意見交換会」
	1名	法人	社会福祉法人役員及び幹部職員研修会
6月	4名	居宅介護支援	西部包括勉強会「成年後見制度の申し立て支援と実務の実際」
	1名	特養	福祉現場での感染症予防対策
	1名	特養	実践的な介護事業所の人事ノウハウ
7月	1名	デイサービス	介護保険等サービス事業者等集団指導
	4名	居宅介護支援	連協研修会「鈴鹿地区地域包括ケアシステムの構築を目指して」
	3名	特養、デイサービス	鈴鹿地区老協施設職員研修会
	1名	総務	会計担当者養成集中講座～新会計基準への移行～
	1名	総務	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会

	1名	特養	甲種防火管理者講習
8月	4名	居宅介護支援	連協研修会「鈴亀地区地域包括ケアシステムの構築を目指して」
	1名	デイサービス	認知症介護実践者研修
9月	1名	法人	法人経営研修会
	4名	居宅介護支援	第24回七栗緩和ケアセミナー「命の質を輝かせよう」
	2名	特養	ユニットリーダー研修
	1名	法人	人材確保・育成に関する研修会
10月	1名	デイサービス	認知症介護実践者研修
	4名	居宅介護支援	連協研修会「医療福祉分野とロボットをつなぐ～ロボットスーツHALとは?～」
	1名	特養	福祉サービスの苦情解決研修会
	2名	特養	ユニットリーダー研修
	1名	デイサービス	認知症介護実践リーダー研修
	1名	総務	介護事業所の労務管理
	1名	特養	生活相談員研修会
	1名	総務	新会計基準への移行
11月	1名	デイサービス	介護福祉士実習指導者講習会
	1名	法人	全国老人福祉施設大会
	2名	デイサービス	日本通所ケア研究大会
	4名	居宅介護支援	権利擁護研修会「生活保護の基本と必要のある方への支援について」
	1名	デイサービス	認知症介護実践リーダー研修
	1名	デイサービス	介護福祉士実習指導者講習会
12月	1名	法人	東海北陸ブロックカンントリーミーティング
	2名	デイサービス	日本通所ケア研究大会
	2名	デイサービス	高齢者の窒息・誤嚥を防ぐために、介護福祉士実習指導者講習会
	4名	居宅介護支援	西部包括勉強会「地域に共存する精神科病院の現状」
	1名	デイサービス	介護福祉士実習指導者講習会
	1名	法人	トップセミナー
	1名	特養	社会福祉主事資格認定通信課程
	1名	法人	ユニットケア施設管理者研修
	4名	特養、デイサービス	人材育成に関する研修会
	1名	総務	新会計基準研修会
1月	1名	デイサービス	認知症介護実践リーダー研修
	1名	医務、特養、デイサービス	高齢者の窒息・誤嚥を防ぐために
	1名	居宅介護支援	地域権利擁護支援研修「高齢者虐待防止法の理解」「成年後見業務に見る高齢者虐待対応のポイント」
	1名	居宅介護支援	日本ケアシステム本社研修会「新型ベッド楽匠Zについて」
	1名	法人	みえぎん新春講演会
	1名	法人	介護事業経営セミナー
2月	2名	デイサービス	在宅介護部会研修会
	1名	居宅介護支援	在宅介護部会研修会
	3名	居宅介護支援	連協研修会「遺品整理の現場から学ぶ～最期まで孤立しないために～」
	1名	居宅介護支援	老施協研修会「27年度法改正にむけて」
	1名	特養	介護施設職員の腰痛予防について
3月	1名	法人	社会福祉法人役員研修講座
	1名	デイサービス	3.11を知る・新しいデイサービスの経営について

4名	居宅介護支援	西部包括勉強会「インシデントプロセス法も用いたケース検討について」※事例提供者として参加
3名	法人、特養	ユニットケアフォローアップ研修

3. 行事計画

- (1)「創立20周年記念行事」～20年目を迎えて～ 平成25年5月11日(土)
参加者:特養入所者、入所者家族27名、短期入所利用者、通所介護利用者
- (2)「敬老祝賀会」平成25年9月16日(月)【敬老の日】
参加者:特養入所者、短期入所利用者、通所介護利用者

Ⅲ. 事業別事業計画

1. 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム

2. 指定短期入所生活介護事業(指定介護予防短期入所生活介護事業) 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム 短期入所生活介護事業所 介護予防短期入所生活介護事業所

(1)委員会運営

①リーダー会議の開催状況と内容

計 11 回開催

開催月	主な検討議題
5月	各委員会委員の選出、事業計画に基づいた評価の実施について、勤務表作成ルールについて
6月	各委員会活動内容の決定、新人教育マニュアルについて、ユニットのコンセプト・方針について
7月	ユニット化への取り組み、24時間シート、ユニットのコンセプト・方針について
8月	ユニット化への取り組み、24時間シート、ユニットのコンセプト・方針について
9月	朝礼時等の情報共有について、勤務時に携帯するべき物について、新人教育マニュアルについて
10月	ケアの質の向上について、8時間夜勤についての検討
11月	ユニットケア研修についての立案、24時間シート、新人職員教育マニュアルについて
12月	ユニット化におけるドレスコードについて、24時間シートの進捗状況について、次年度の事業計画について、人事考課について
1月	24時間シート、改修事業・人員配置について、新介護記録の使用状況について、次年度の事業計画について、人事考課について
2月	ユニットケア研修、食事の対面盛り付けについて、24時間シートの導入について
3月	納品書、介護日誌の改善について、対面盛り付けについて、新人教育マニュアル

②入所判定委員会の開催状況と内容

計 10 回開催

開催月	開催回数、日程等	
5月	2回開催	5月1日、8日
6月	1回開催	6月1日
7月	1回開催	7月16日
10月	1回開催	10月23日
11月	3回開催	11月1日、7日、29日
2月	1回開催	2月3日
3月	1回開催	3月20日

③サービス担当者会議の開催状況と内容

計 198 回開催

開催月	開催回数	開催月	開催回数
4月	17件	10月	17件
5月	14件	11月	15件
6月	18件	12月	17件
7月	19件	1月	19件
8月	16件	2月	14件
9月	15件	3月	17件

(2)ボランティアの受入れ

計 5 団体受入

名称等	人数	訪問頻度等
傾聴同好会 鈴鹿支部	5名	毎月2～3回(特養)
音楽を楽しむ会	3名	毎週金曜日(特養・デイ)
ハーモニカ演奏	3名	毎月2回(特養・デイ)
鈴鹿市理容組合理容ボランティア	7～10名	年2回(特養)
麻雀ボランティア	1名	毎週(サロン花葉)

(3)実習生、体験学習等の受入れ

計 6 機関受入

月	教育機関名	人数	内容
5月	鈴鹿短期大学	5名	音楽療法士臨地実習
6月			
	鈴峰中学校職場体験学習	4名	
7月	鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校実習	2名	介護福祉士養成実習
8月	鈴峰中学校ワークキャンプ	5名	
	椿小学校ワークキャンプ	6名	
	鈴西小学校ワークキャンプ	9名	
10月	鈴鹿短期大学	5名	音楽療法士臨地実習
11月			

(11)健康管理部門 医務係

ア)特養における介護職員とのケア連携について(特養内でのたんの吸引等)

計 3 回

月	取り組み内容等
4月	口腔内吸引のDVD(新入職員対象)
5月	たんの吸引等に関するフォローアップ研修 心肺蘇生法、AED講習
6月	吸たん説明・指導(新入職員対象)

イ)感染症対策

■発生件数

区分	件数	主な内容
感染症	13件 特養	感冒症状
	3件 デイサービス	感染性胃腸炎、感染性胃腸炎の疑い、ノロウイルス

■緊急退所者数

緊急退所者数	件数	主な内容
18名	14件 ショートステイ	脱水症。肺炎、脳血管疾患の疑い、転倒骨折の疑い
	1件 デイサービス	自宅で転倒後利用。その後足の骨折疑いで受診。左下腿骨折(2本)と診断
	3件 サロン花葉	風邪症状(嘔吐・下痢・倦怠感)

ウ)介護事故等

区分	件数	主な内容
病院受診が必要な事例	35 件 特養	脳血管疾患、眼科、肺疾患、尿路疾患、心疾患、耳鼻科、皮膚科等
病院受診が不要な事例	31 件 デイサービス	転倒、誤嚥、剥離、紛失
	3 件 サロン花葉	風邪症状
ヒヤリハット	275 件 特養・ショートステイ	車いす・ベットからのずり落ち、独歩による転倒危険、コールマットがオフになっていた等
	107 件 デイサービス	車中での座席移動、配膳間違い、暴力行為未遂、利用者同士の言い合い等
	4 件 サロン花葉	自発的行動、転倒危険、服薬ミスが発生しそうになった等
身体拘束廃止に向けての検討状況	0 件 特養	該当者なし
	0 件 デイサービス	該当者なし
	0 件 サロン花葉	該当者なし

エ)感染症等対策委員会の開催回数と内容

計 7 回開催

開催月	主な検討議題
4 月	感染症発生者数報告、鳥インフルエンザ、マダニ感染について注意喚起
6 月	感染症発生者数報告、麻疹の若年層間の流行について注意喚起
8 月	感染症発生者数報告、脱水症への注意、手足口病について注意喚起
10 月	感染症発生者数報告、高齢者医療、感染症防止に関する研修会について
11 月	感染症発生者数報告、インフルエンザの予防接種について
12 月	感染症発生者数報告
1 月	感染症発生者数報告、高熱の方について

(12)食事提供部門 調理係

ア)食中毒対策

■発生件数

区分	患者数	主な内容
食中毒	0 名	

■感染症等対策委員会の開催回数と内容

計 10 回開催

開催月	主な検討議題
4 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例について、食品等の自主回収事例について注意喚起
5 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例について、食品等の自主回収事例について注意喚起
6 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例(サポウイルス)について、食品等の自主回収事例について注意喚起
7 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例について(O-157、カンピロバクター・ジェジュニ)、食品等の自主回収事例について注意喚起
8 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例について、食品等の自主回収事例について注意喚起
9 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例(カンピロバクター・ジェジュニ)について注意喚起
10 月	調理従事者の便検査の結果について、県内・外の食中毒発生事例(O-157)について、県内の食品等の自主回収事例(ゼリー)について注意喚起
12 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例(ノロウイルス)について、県内外の食品等の自主回収事例(ロールケーキ・米菓)について注意喚起
1 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例(ノロウイルス)について、県内外の食品等の自主回収事例(米菓・和菓子・アクリフーズ)について注意喚起

3 月	調理従事者の便検査の結果について、県内の食中毒発生事例(ノロウイルス・グドアセプトンブクータ)について、食品等の自主回収事例について(米菓・漬物)注意喚起
-----	---

■ 食事提供に関する取組み状況

※嚥下障害がある方の食事については、従来は、料理をミキサーなどにより、ペースト状に加工し、とろみ調整材等により調整して提供していたが、口腔内拡散等により、誤嚥性肺炎となるリスクも高かった。又、全てがペースト状であるため、見た目も食感も悪く、食欲増進にはつながることがあまり見られなかった。ソフト食は一度ペースト状にした料理にソフト食調整材を混入し、過熱・再形成した料理で、口腔内での食塊形成をはかり、誤嚥性肺炎を防止するとともに、見た目・食感の向上により、嚥下障害となった場合においても食事を楽しみの一つとして提供することが可能となった。

■ 行事

(1)「創立20周年記念行事」～20年目を迎えて～ 平成25年5月11日(土)

- ◇握り寿司◇巻き寿司◇春のちらし寿司～20種類のハーモニー～◇すまし仕立て
- ◇ほうれん草と照り焼きチキンのキッシュ◇鯉のたゞき サラダ仕立て◇天婦羅
- ◇お洒落うどん◇焼物三種◇季節のフルーツ◇小倉入り抹茶ティラミス&ハワイアンパンケーキ



(2)「敬老祝賀会」平成25年9月16日(月)【敬老の日】

- ◇鰻重◇紅白巻寿司◇握り寿司◇すまし仕立◇天婦羅◇オードブル
- ◇水物◇紅白万寿



3. 指定居宅介護支援事業 在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム 居宅介護支援事業所

はじめに

これまで個々で動いていた意識が強かった各ケアマネに対し、事業所として各ケアマネが相互に作用し、相乗効果を生むべくこの1年間取り組みました。結果事業所内の雰囲気は向上し、相互に相談しやすく、ケアマネ個人が働きやすく、引いては利用者へのケアマネジメント力向上につながられたと感じます。具体的な取り組みについては下記に記します。

(1)個人として

定期研修内での各担当ケース内での問題共有(一昨年度同様)
各ケアマネがまとめるケースファイルや書式の開示(4~6月居宅内研修にて)
毎月1名をノルマとした担当ケースへの他ケアマネの同行(延べ24件実施)
困難事例への複数ケアマネの関与等の実践
上位資格の取得(主任介護支援専門員1名取得)

(2)事業所・法人として

毎月の幹部会議・代表者会議への参加と参加後の居宅内での報告の実施(通年・継続)
毎週の定期運営会議・毎月の居宅回研修の実施(通年・継続)
法改正情報の事業所・法人内共有(1~3月)
インターネット環境の整備による速やかな情報取得体勢の構築(12月)
居宅内レイアウト変更によるデスク環境の向上(12月)
社会資源ファイル拡充による地域の社会資源情報のデータベース化(通年)

(3)地域の一員として

個別ケース対応を通じた行政・広域・近隣地区市民センター・西部包括・駐在所等との連携強

4. 指定通所介護事業(指定介護予防通所介護事業)

デイサービスセンター 鈴鹿グリーンホーム 通所介護事業所
介護予防通所介護事業所

(1)ご利用者の満足に繋がるサービスの提供

■個別機能訓練の実施

デイサービス利用者に対して、体調不良の方を除き、個別機能訓練計画に基づき、個別機能訓練加算を算定。書類の整理も行い、監査への対応もできている。利用者については、サービス担当者会議にて訓練内容について確認を行っている。

予防利用者全員に対しては、運動器機能向上加算を算定している。

■サービス内容の充実(職員会議)、行事・アクティビティの提供

行事・アクティビティの提供では、レクリエーションからアクティビティへの名称変更により、職員に対して意識づけを行っている。利用者に対しては、サービス対んとう者会議の席でアクティビティ(継続的な活動)の提案を行ったが、利用者全員に対して浸透はしていない。来年度の反省点としている。

■開催状況

開催月	内容
4月	アクティビティ担当の変更、新入職員研修の実施
5月	利用者の持ち物についての再確認
6月	利用者へのサービス提供に合わせて休憩時間の変更
7月	前月の業務変更(休憩時間)についての評価
8月	個人ファイルへの記載内容について周知徹底、服薬管理について検討・実施
9月	利用者への対応方法について
10月	食事の提供(食事介助)について検討
11月	感染症予防について
1月	衣類、持ち物カゴの提供について、腰痛保護ベルト等補助要綱について、緊急メール運用規程について
2月	脱衣場のレイアウト変更
3月	平成26年度事業計画について

■口腔機能向上加算の算定件数

開催月	内容	開催月	内容	開催月	内容
4月	7/8 件	8月	7/8 件	12月	8/10 件
5月	7/8 件	9月	8/9 件	1月	7/11 件
6月	7/8 件	10月	7/9 件	2月	7/10 件
7月	8/9 件	11月	8/10 件	3月	7/10 件

■人材育成

施設内、施設外研修への参加、勉強会の開催等実施

■地域との交流(ボランティアの受け入れ)

開催月	内容	開催月	内容	開催月	内容
4月	3 件	8月	3 件	12月	2 件
5月	4 件	9月	3 件	1月	3 件
6月	3 件	10月	2 件	2月	3 件
7月	4 件	11月	3 件	3月	1 件

(2)リスクマネジメント

■安全管理委員会の開催

開催月	内容
4月	事故、ヒヤリハットの分析、平成24年度の年間報告
5月	前回の対策の評価、事故・ヒヤリハット報告に対する一次対応の評価
6月	前回の対策の評価、要注意利用者のチェックと対策の周知徹底
7月	前回の対策の評価、時間帯別の事故報告に対する対応確認、事故報告内容の確認
8月	前回の対策の評価、水分提供での確認方法について検討
9月	前回の対策の評価、申し送りの方法について検討
10月	前回の対策の評価、食事・おやつ提供について検討
11月	前回の対策の評価、感染症への対応について
12月	前回の対策の評価、新規利用者への対応について
1月	前回の対策の評価、送迎時の対応について
2月	前回の対策の評価、入浴時の対応について
3月	前回の対策の評価、食事提供について

■ヒヤリハット勉強会

開催月	内容
4月	キャラバンでの移乗介助、車内の使用について
5月	EKワゴンの移乗介助、車内の使用について
6月	フィットの移乗介助、車内の使用について

7月	ハイエースの移乗介助、車内の使用について
8月	キャラバンの移乗介助、車内の使用について
10月	タントの移乗介助、車内の使用について
11月	脱衣場での環境、介助方法、利用者への対応について
12月	風呂場での環境、介助方法、利用者への対応について

(3)事業所規模の変更

平成25年3月時点で各居宅を訪問、説明を行う。4月の提供票により内容確認を行い、事業所規模変更に伴う単価変更についても確認を行う。その後、特に問題もなく営業できている。

(4)ショートステイ事業との連携

ショートステイ事業との連携については、生活相談員、看護職員を中心に利用日の変更や状態変化、サービス内容の変更等について担当者会議や必要に応じて情報交換を行う。

(5)地域との連携・活動の推進

ボランティア団体との交流、保育所との交流、職場体験、実習受け入れ等実施

5. 指定通所介護事業(指定介護予防通所介護事業)

サロン花葉(小規模型デイサービス事業所)

(1)利用者・居宅介護支援事業所等への情報発信

		体験利用	14名	見学	27名
月	取り組み内容等	体験利用		見学	
4月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	3名		0名	
5月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	1名		0名	
6月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	3名		4名	
7月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	0名		7名	
8月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	0名		5名	
9月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	0名		0名	
10月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	4名		2名	
11月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	1名		2名	
12月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	0名		3名	
1月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	2名		1名	
2月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	0名		0名	
3月	近隣の居宅介護支援事業者へ訪問	0名		3名	

(2)ご利用者・ご家族の満足度アップ

月	取り組み内容等
4月	お菓子作りを本格始動
5月	事業所以外でも製作ができるように働きかけ、実施
6月	園芸活動
7月	趣味活動について個々利用者に再確認
8月	いきいき介護フェスタに向けての作品づくり
9月	いきいき介護フェスタ案内配布
10月	個別ケアについて2ケース検討
11月	ご利用者からの提案による作品づくり
12月	忘年会開催
1月	作品づくりのバージョンアップをご利用者と考える
2月	通信販売で作品を購入し、ご利用者と試作
3月	通信販売パンフからご利用者が購入し、製作を行う

(3)地域とともに

月	取り組み内容等
4月	幼稚園等へのバザーへの寄付をご利用者とともに作成
5月	岡田地区「いきいきサロン」情報交換(自治会長・鈴鹿市社会福祉協議会、鈴鹿市西部地区包括支援センター) 於:サロン花葉
6月	花葉において交流会開催
8月	いきいき介護フェスタへの準備
9月	いきいき介護フェスタ案内配布
10月	高齢者麻雀ボランティアを週1回受入れ
11月	花葉において交流会開催
12月	地域関係者に年末の挨拶
1月	地域関係者に新年の挨拶
3月	地域関係者に年度末の挨拶

(4)スタッフの資質能力の向上

計 12 回

月	取り組み内容等
4月	目標シートヒアリング
5月	人事考課についてのヒアリング
6月	バイタルサインについて情報発信
7月	エスケープ事例について検討
8月	5S活動の実施
9月	人に伝えるむずかしさについて
11月	人事考課についてのヒアリング
12月	5S活動(整理整頓・清潔清掃)実施
3月	今年度の振り返り

(5)安心安全に

計 12 回

月	取り組み内容等
4月	駐車場整備 交通安全の啓発
5月	介護事故防止(危険予知能力)
6月	火災対策等への工事
7月	交通安全の啓発
8月	防犯対策として戸締り等の再確認
9月	交通安全の啓発
10月	個人情報取り扱いについて啓発を行う
11月	送迎車両のチャイルドロック開始
12月	交通安全の啓発 感染症対策開始
1月	守秘義務についての啓発
2月	介護事故防止(凍結・雪)
3月	車両点検

(7)花葉会議

計 12 回開催

月	取り組み内容等
4月	月例会等の報告、ヒヤリハット、連絡事項について
5月	全スタッフ参加の会議開催、法人理念・計画について理事長より説明
6月	月例会等の報告、ヒヤリハット、連絡事項について
7月	月例会等の報告、事故発生報告、ヒヤリハット、連絡事項について
8月	月例会等の報告、ヒヤリハット、連絡事項について
9月	月例会等の報告、いきいき介護フェスタについて、事故報告
10~2月	月例会等の報告、ヒヤリハット、連絡事項について
3月	平成25年度事業計画と人事考課、目標シートの説明

6. 鈴鹿市委託事業

(1) 高齢者通報対応業務委託

実績	主な内容
23名(延べ)	退院支援アドバイス、介護支援方法、介護保険説明・相談
5名(実)	ターミナルケア支援(介護保険外)他

(2) 鈴鹿市一次予防事業委託

① 音楽を楽しむ会

延べ参加者数	主な内容
982名	季節に合わせた音楽、簡単な体操など

② 生きがい活動等


延べ参加者数	主な内容
118名	5/26 亀山公園・鈴鹿サーキット「ナチュラルビュッフェそらたべよ」その後施設にてお菓子作り 8/4 施設内で流しソーメン・バーベキュー 10/20 希望荘・道の駅菰野ふるさと館 11/24 小山田温泉さるびの・白藤の滝・関ドライブイン 12/22 施設内で餅つき・お菓子作り 3/30 梅ドライブ(いなべ市梅林公園・ふれあいの駅うりぼうダイソー菰野イオンタウン)

※ 一次予防事業の利用者や地域の固定化回避、地域への啓発を目的とした音楽会のパンフレットを長寿社会課のアドバイスを受け11月に作成。
年度末時点で鈴鹿市長寿社会課、西部包括支援センター、久間田地区市民センター、庄内地区市民センター、深伊沢地区市民センター、庄内派出所へ配付・設置頂いております。

平成 26 年 5 月 27 日

理事長 中村 敏 様

社会福祉法人 鈴鹿福祉会

監事 羽山 勝浩 

監事 吉田 多恵子 

監事監査結果について（報告）

社会福祉法人 鈴鹿福祉会の平成 25 年 4 月 1 日平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度における業務実施状況及び収支会計を監査しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 平成 26 年 5 月 23 日（金） 13：30～15：30
- 2 場 所 鈴鹿グリーンホーム会議室
- 3 立会人 事業及び会計責任者 施設長 服部 昭博
出納職員 林 美知
- 4 監査結果
 - (1) 人材については、現在充足しているということであるが、介護現場は特に人材が不足している状況が続いていると報道されているので、サービスの低下を招かないよう安定的に人材を確保するよう努められたい。
 - (2) 今回のユニット化工事にかかる借入金の償還計画について、介護保険収入等からみて適正であるとは思いますが、確実に返済されるよう運営されたい。

以上、平成 25 年度の社会福祉法人 鈴鹿福祉会の事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録などについては、関係の法令等による監査の結果、適正と認めます。